

18歳意識調査 第35回
「コロナ禍とストレス」
統計分析結果報告書(追加分析2)

2021年5月30日

一般社団法人社会調査支援機構チキラボ

その他の要因とストレス反応

1. 趣味

- 趣味は、ストレス反応を強めたり弱めたりしたか？
 - 自宅でできたり、一人でできたりする趣味・・・コロナ禍でのストレスを軽減した可能性
 - 友人と一緒にあったり、外出を伴ったりする趣味・・・コロナ禍でできなくなることで、ストレスを強めた可能性

1. 趣味

- リストから趣味を全て選択してもらったQ9の回答より、趣味の3因子を抽出
 - 「内向型趣味」(自宅や屋内で一人で静かに行うような趣味)
 - 例: 動画鑑賞、映画鑑賞、音楽鑑賞、読書など
 - 「外向型趣味」(専ら外出を伴う、アクティブな趣味)
 - 例: 国内外の旅行、ファッション、ゲーム(*当てはまらないほど外向的趣味得点が高い)など
 - 「身体活動型趣味」(身体運動などを伴う趣味)
 - 例: 屋内・屋外での運動やドライブなど

1. 趣味

- 階層的重回帰分析を用いた分析
- Step1: 統制変数と居住地の主効果のみ、Step2: 趣味得点、Step3: 居住地の緊急事態宣言 × 趣味得点の交互作用(組み合わせによる効果)を順に投入

| 変数名 | Step1 | Step2 | Step3 |
|--------------|---------|----------------|---------|
| 切片 | -0.038 | 0.037 | 0.052 |
| 統制変数・居住地主効果 | | | |
| 女性ダミー | 0.289** | 0.220** | 0.212** |
| 居住地緊急事態宣言 | -0.007 | 0.000 | -0.002 |
| 立場_高3進路決定 | -0.120+ | -0.095 | -0.098 |
| 立場_高3進路未定 | 0.017 | -0.010 | -0.004 |
| 立場_高校後学生 | -0.035 | -0.019 | -0.019 |
| 立場_就労 | -0.210 | -0.181 | -0.183 |
| 立場_訓練 | 0.065 | 0.107 | 0.125 |
| 立場_なし | -0.054 | 0.044 | 0.048 |
| 趣味得点 | | | |
| 内向型趣味 | | 0.240** | 0.231** |
| 外向型趣味 | | 0.036 | 0.064 |
| 身体活動型趣味 | | 0.035 | 0.022 |
| 居住地緊急事態宣言 × | | | |
| 内向型趣味 | | | 0.099 |
| 外向型趣味 | | | -0.199* |
| 身体活動型趣味 | | | 0.061 |
| R^2 | .041** | .112** | .117** |
| ΔR^2 | | .071** | .006 |

②Step2では、内向型趣味得点が高いほどストレス反応得点が高いという効果が見られている。他の趣味得点はストレス反応と関連しない。

①Step1→Step2では R^2 が大きくなっているが、Step3にかけては大きくなっていないので、最終的にStep2の結果を用いる

1. 趣味

- 結果の要約

- 内向型趣味得点の高さは、予測と逆に、ストレス反応得点の高さと関連していた。この関連性は居住地が緊急事態宣言の対象だったかどうかと関係なく見られた。
- 他の趣味得点はストレス反応得点と無関連。

- 考察

- 趣味の「多さ」とコロナ禍でのストレスについての仮説は支持されなかった。
 - ただし、特定の趣味の「深さ」「強さ」は影響するかもしれない。
- 観察された内向型趣味—ストレス反応の関連性は、パーソナリティなどの元々存在する個人差(繊細で傷つきやすい人ほど内向型趣味を持つようになるといった)を反映したものかもしれない。

2. 個人所有物

- 青年が個人として所有している物品の豊富さには、ストレスを和らげる効果があるか？
 - コロナ禍で自宅にいる時間が多くなっても、所有する物品が多いことは有効なコーピング手段を提供してくれるかもしれない。

2. 個人所有物

- リストから所有物を全て選択してもらったQ16の回答より、個人所有物の4因子を抽出
 - 「所有_一般」(使途が比較的広い所有物・空間)
 - 「自分の部屋」「自分専用のテレビ」「机」など
 - 「所有_ゲーム」(各種ゲーム機)
 - 「所有_音楽」(楽器・オーディオ機器)
 - 「所有_ハイテク」(その他のハイテク機器)
 - 「スマートウォッチ」「AIスピーカー」「電子書籍リーダー」など

2. 個人所有物

- 階層的重回帰分析を用いた分析
- Step1: 統制変数と居住地の主効果のみ、Step2: 所有物、Step3: 居住地の緊急事態宣言 × 所有物の交互作用 (組み合わせによる効果) を順に投入

| 変数名 | Step1 | Step2 | Step3 |
|--------------|---------------|----------------|---------------|
| 切片 | -0.038 | 0.056 | 0.072 |
| 統制変数・居住地主効果 | | | |
| 女性ダミー | 0.289** | 0.297** | 0.296** |
| 居住地緊急事態宣言 | -0.007 | -0.005 | -0.005 |
| 立場_高3進路決定 | -0.120+ | -0.085 | -0.085 |
| 立場_高3進路未定 | 0.017 | 0.025 | 0.015 |
| 立場_高校後学生 | -0.035 | -0.027 | -0.029 |
| 立場_就労 | -0.210 | -0.155 | -0.126 |
| 立場_訓練 | 0.065 | 0.121 | 0.126 |
| 立場_なし | -0.054 | 0.004 | 0.014 |
| 個人所有物 | | | |
| 所有_一般 | | -0.094 | -0.063 |
| 所有_ゲーム | | 0.071 | 0.057 |
| 所有_音楽 | | 0.159** | 0.153** |
| 所有_ハイテク | | 0.149* | 0.118+ |
| 居住地緊急事態宣言 × | | | |
| 所有_一般 | | | -0.265* |
| 所有_ゲーム | | | 0.115 |
| 所有_音楽 | | | 0.056 |
| 所有_ハイテク | | | 0.194 |
| R^2 | .041** | .072** | .076** |
| ΔR^2 | | .031** | .004 |

②Step2では、「所有_音楽」と「所有_ハイテク」が高いほどストレス反応が高かったという結果

①Step1→Step2では R^2 が大きくなっているが、Step3にかけては大きくなっていないので、最終的にStep2の結果を用いる

2. 個人所有物

- 結果の要約
 - 所有物のうち「音楽」と「ハイテク」は予測とは逆に、むしろストレス反応得点の高さと関連
- 考察
 - 個人的に所有している物品が多いことがストレスを緩衝するという仮説は支持されなかった。
 - 元々の個人的傾向の差（ストレスを感じやすい人ほど音楽を好むといった）の方が大きいためかもしれない
 - ただし、家族や近隣住民の在宅機会が増えたことで楽器やオーディオ機器を使用しづらくなるなどの制約が生じたためである可能性もある

3. 経済的豊かさ

- 家庭や親戚の経済的豊かさはストレス反応に影響するか？
 - 経済的に豊かである方が各種のストレスサーに対処しやすい可能性がある
- 青年における経済的豊かさの指標
 - 月々のお小遣い・・・主たる家計支持者の経済的豊かさを反映。11段階で測定。
 - お年玉(*)・・・特に高校生程度までの学生の、家族・親戚ネットワークの経済的豊かさを反映。11段階で測定。

*調査時期は2021初頭

3. 経済的豊かさ

- 階層的重回帰分析
- 立場は、お年玉をもらうことが多いであろう「高校生」を単一カテゴリにまとめた。
- Step1: 統制変数のみ、Step2: お小遣い・お年玉、Step3: 高校生 × お年玉の交互作用を順に投入。

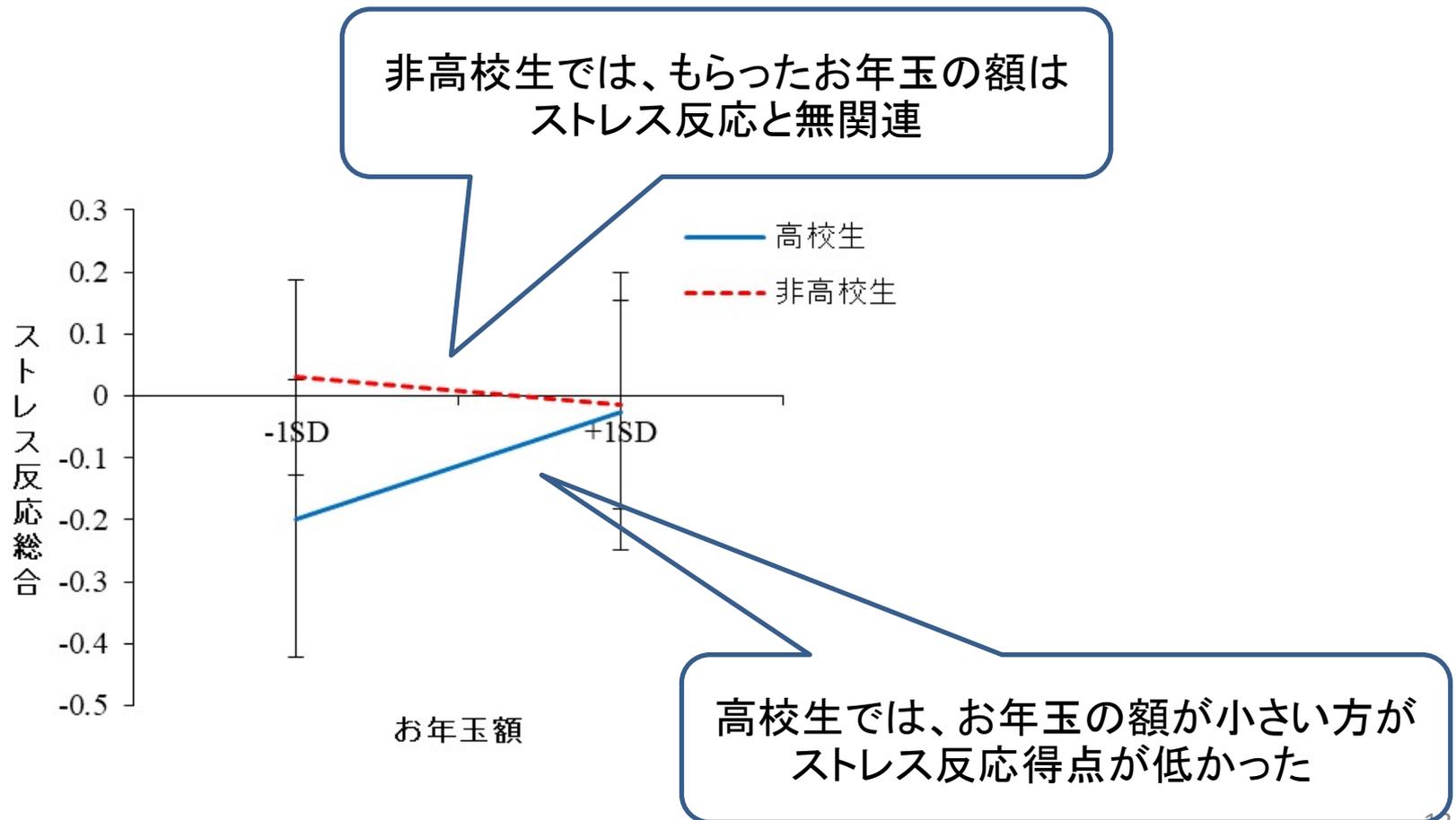
| 変数名 | Step1 | Step2 | Step3 |
|---------------|---------|---------|---------|
| 切片 | -0.037 | -0.025 | -0.052 |
| 統制変数 | | | |
| 女性ダミー | 0.287** | 0.281** | 0.283** |
| 居住地緊急事態宣言 | -0.011 | -0.008 | -0.004 |
| 立場_高校生 | -0.106 | -0.143 | -0.119 |
| 立場_高校後学生 | -0.083 | -0.115 | -0.086 |
| 立場_就労 | -0.259 | -0.209 | -0.269 |
| 立場_訓練 | 0.016 | -0.004 | 0.010 |
| 経済的豊かさ | | | |
| お小遣い額 | | 0.018+ | 0.017+ |
| お年玉額 | | 0.010 | 0.010 |
| 交互作用 | | | |
| お年玉額 × 立場_高校生 | | | 0.034* |
| R^2 | .038** | .045** | .049** |
| ΔR^2 | | .006* | .005* |

②Step3では、お年玉額 × 立場_高校生が有意。お小遣い額は影響せず。

①Step1→Step2→Step3で R^2 が大きくなっているので、最終的にStep3の結果を用いる

3. 経済的豊かさ

- 高校生であることとお年玉額の交互作用(組み合わせによる効果)



3. 経済的豊かさ

- 結果の要約

- 月々のお小遣いの額は、ストレス反応得点と無関連
- 仮説に反して、高校生ではもらったお年玉が少ない方がストレス反応得点が低かった。

- 考察

- 家族・親族の経済的豊かさがストレス反応を和らげる効果は示されず。お年玉ではむしろ逆の関連性。
- お年玉の多さが、経済的豊かさだけでなく親戚ネットワークにおける年長者の数も反映しているため？
 - お年玉が多い＝新型コロナの被害を受けやすい親戚（特に老人）が多数いることがストレスを強めた？
 - 高校生以外では、お年玉の額は親戚の数とあまり関係がないため、無関連だったのかもしれない

4. 高校の学力水準

- 青年において、高校入学時の学力が、現在のストレス反応に影響しているということはあるだろうか？
 - 学力が高い高校に通った方が、将来への展望などの面でポジティブな影響を受けているかもしれない。逆に高校の学力水準が低いことがその数年後のストレスの高さと関連しているなら、介入の必要があるかもしれない。
 - 現在の立場（高3で受験生である、など）の効果と分離して検討する必要がある。

4. 高校の学力水準

- 高校の合格基準偏差値
 - Q12で、「あなたが最後に通った(または、現在通っている)高校の入学試験の合格基準偏差値」を質問。
 - 回答は「34以下」～「65以上」までの8段階(計714名)に加えて、「分からない」(220名)、「高校に通ったことがない」(7名)、「おしえたくない」(59名)の11水準から選択。
 - 8段階のいずれかを選択した回答者のみを以降の分析で使用。

4. 高校の学力水準

- 重回帰分析

- model1は性別と居住地に高校の合格基準偏差値のみを加えたモデル、model2は現在の立場も同時に加えたモデル

| 変数名 | model1 | model2 |
|-----------|--------|--------|
| 女性ダミー | .184** | .190** |
| 居住地緊急事態宣言 | -.043 | -.039 |
| 立場_高3進路決定 | | -.061 |
| 立場_高3進路未定 | | .021 |
| 立場_高校後学生 | | .000 |
| 立場_就労 | | -.032 |
| 立場_訓練 | | .016 |
| 立場_なし | | .006 |
| 高校合格基準偏差値 | -.007 | -.014 |
| R^2 | .036** | .042** |

係数は標準化係数

現在の立場を考慮するかしないかにかかわらず、高校の合格基準偏差値はストレス反応に関連していない(なお、居住地との交互作用を加えても有意にならない)

4. 高校の学力水準

- 結果の要約

- 高校入学時の学力は、そこから数年経った17～19歳の年始時点でのストレス反応得点とは関連していなかった。

- 得られる示唆

- 少なくとも、高校の学力水準が高いことが将来への明るい展望をもたらしストレスを弱めるというような単純な関連性ではない。

まとめ

- ①一人で過ごせる趣味を持っていること、②豊富な物品を所有すること、③家族・親戚ネットワークが経済的に豊かであること、④高校の学力水準が高いことと、各種のリソースの効果を検討したが、少なくとも分析に用いた指標では、事前に想定していた関連性は見出せなかった。